

33 . 何故墓の上に十字架があるのか

何百年も昔、遠く離れた王国に、ペドロとマリアという貧しい夫婦が住んでいました。何も食べられない日がありました。時々、ペドロとマリアは鳥や野生の動物を羨ましく思いました。これらの生き物は、飢えに苦しむことがなかったからです。彼らの苦しみにもかかわらず、ペドロとマリアは神様への信仰を失うことはありませんでした。毎日、彼らは苦しみから解放されることを祈っていました。

ある夜、ペドロが熱心に祈っていると、彼の前に天使が現れて、第三の山に行くように命じました。そこには古い自然の植物が育っているのです。彼はその植物を掘るように、そしてその根は切ってしまうないように言われました。というのは、これらの根の下には、金の壺があって、それには、高価の宝石が入っていて、彼らを金持ちにしてくれる、というのです。

その翌朝早く、ペドロは活動を始めました。彼は第三の山まで旅をし、天使が彼に告げたとおりにしました。彼は帰るとき、肩に金の壺を背負い、到着すると、夫が山から運んできた大変な富を見て、驚き喜びました。しばらくの間、その夫婦は豪華で満ち足りた生活をしていました。

彼らの新しく獲得した富にも関わらず、ペドロは満足できずでした。というのは、彼は、その豪華な生活は、死が襲ってきた時、終わりを告げることを知っていたからです。今、彼が望んでいることは、今の喜びをずっと継続するために、永遠の命を手に入れることでした。

そこで、ペドロは妻に、死のない所を探すことを提案しました。彼女は乗り気ではありませんでした。すべてのものには、命も含めて、終わりがあることを知っていたからです。そして彼女は、神様は与えたものを、時が来れば取り上げられることも、知っていたのです。しかし、夫は妻の考えには同意しませんでした。そして、彼は2ヶ月の間、広範囲に旅をして、死のないところを探しました。

ペドロが人口の密集した国に着くのにそんなに時間はかかりませんでした。彼は、その場所では、死が知られていないことがわかりました。しかし、不可解な声に呼ばれた人は誰も戻ってこないし、呼んでいる人を見えるのは、ただ呼ばれた人だけでした。

ペドロは、家に帰って、彼の妻を連れて来ました。そして二人は新しいところに定住しました。彼は妻に、彼女がどんな呼びかけの声を聞いても、それに答えないように、もしそうしたなら、もう帰ってくるできないから、と言いました。彼は妻に、いつもそのことを釘をさしていました。マリアには夫の忠告がよくわかりませんでした。彼に同意しました。

何年も過ぎて、夫婦は彼らの持っている富と豊かさに囲まれ、幸せに暮らしていました。

そしてある夜、何かが起きました。夫婦が夕食を食べていると、不可解な声呼びかけののです。ペドロは妻がそれに答えるのを聞きました。彼はマリアを止めようとしたのですが、彼女はドアへ開けに行きました。彼のほうが先にドアに駆け寄り、それに鍵をかけ、そして、妻が出てゆくのを阻止しようとした。しかし、彼女は窓を越えて行ったのです。

ペドロはすぐに彼女を追うことはできませんでした。そして、彼が何とか家を出た時、マリアはもう暗闇の中に消えていました。ペドロは、妻が不可解な越えに呼ばれたのだと知りました。もし、妻が彼の忠告を聞いてさえいたら、彼女はその声で行ってしまわなかったでしょう。彼は妻がすでに死んだものと考えて、悲しくなりました。

何年も過ぎました。ペドロはすでに年取ってきました。彼の髪の毛は灰色になり、彼は日に日に弱って行きました。そのような状態にも関わらず、彼は自分の富から離れることができずでした。妻に起こったことを忘れられず、どんな呼びかけにも答えられない強い決心をしていました。

ある日、ペドロは髪の毛を切るために、散髪屋に行きました。彼は床屋と話し始め、話題は不可解な声のことになりました。ペドロは、床屋に、その不可解な声のためにおろかにならないように、そして誰が彼を呼んでも、それに答えたらどんなことが起こるか、彼は知っているのに、答えないように、と言うのでした。

しばらくして、床屋はペドロの答えは、彼の質問への答えになっていないことに気づきました。本当に、ペドロは誰かと議論しているのです。そこで、床屋は、ペドロが誰と話しているのか聞きました。しかし彼に答える代わりに、ペドロは床屋の手からはさみをわしづかみにして、彼は見えない者を追っかけて走ってゆきました。はさみを失ってはいけないと、床屋はペドロを追っかけました。

床屋はしばらくペドロを追っかけました。彼らが崖の近くにきた時、彼は後を追うのをやめました。彼はペドロを追うのをやめました。彼のはさみのことはもう考えませんでした。一方、ペドロは走り続け、崖に落ちてゆきました。

ペドロが深い崖に落ちていったという証言を持って、床屋は町に帰って、その知らせを待ちの人々に言い広めました。何百人もの人が、その場所に行って、彼らは、不可解な声によってすべての人が断崖に落ちていったことを知りました。そして、彼らは断崖の斜面に何千もの十字架が、墓の上にあるのを見つけました。彼らが、人はそれが好きであったかどうかにかかわらず、その人が遅かれ早かれ死ぬであろうということに気がついたのはその時でした。

そして、その時から、墓の上に十字架を置くようになったのです。

練習問題

新しい言葉の学び

以下の質問に「はい」か「いいえ」で答えなさい。もし、下線の単語の意味を知らないなら、辞書で探しなさい。

1. その隔絶された王国には、簡単に着けますか？
2. 困難なこと、苦しみは、生活を楽にし、楽しくさせますか？
3. 熱心に祈る時、あなたの全身全霊で祈りますか？
4. 破壊という単語は、建設という単語と同じ意味ですか？
5. あなたは、お話と関係があると、それを他の人にも告げますか？
6. 不承不承の人は、あなたが彼に、するように頼むことを快くしますか？
7. 強く決心した人々は、彼らの望んでいることを成功させることができますか？
8. 断ることは、受け入れることと同じですか？
9. あなたが友人に気づいた時、その人をチラッと見ますか？
10. 示すことは、指すことと同じですか？

答えを説明しなさい。

1. この物語は、私たちがどうして諸聖徒日を守るのかを説明していますか？あなたはどうして、そう思うのですか？

2. この物語は、神様に対して不信仰な夫婦のことを語っていますか？ どうしてですか？

3. この話は、人間が貪欲になってはいけないことを示しているのですか？

4. この話は、ペドロが、死のないところを見つけることができたことを語っているのですか？ どうして、あなたはそう思うのですか？

5. この話は道徳的な教えですか？ どうしてあなたはそう思うのですか？

明確化と発展の評価

1. 神様を信仰することにおいて何が重要ですか？あなたは神様を信じていますか？あなたはどのような方法でそれを表しますか？

2. この話は、ペドロが彼の新しく獲得した共に満足しなかったことを語っています。私たちはこの種の人々を何と呼びますか？

3. ペドロと殻の妻は何が起こることを望んでいましたか？はっきりとあなたの答えをしてください。